

塗料関係 J I S 制定・改正の動向

社団法人 日本塗料工業会
財団法人 日本塗料検査協会

塗料関係の試験方法に関するJISK5400およびJISK5407は、I S Oとの整合をはかったJISK5600およびJISK5601が1999年に制定され、移行への猶予期間が終了し平成14年4月より全面移行となります。これに伴って、製品JISの改正が行われました。また、その後も日本塗料工業会が中心となってI S O規格の改正に伴うJ I S規格の改正およびI S O規格のJ I S化作業が進められております。これらJ I S規格の制定および改正についての最近の動きを報告いたします。

(1)製品 J I S の改正

JISK5400/5407 からJISK5600/5601への移行に伴い整合化をはかるための改正で、基本的には規格値等は変更していない。

ただし、促進耐候性はサンシャイン→キセノン、温度20℃→23℃、湿度65%→50%、加熱残分3時間→1時間、分散度・皮張り性項目の廃止、半硬化乾燥→表面乾燥性等の変更がなされている。

下記規格が改正される。

K 5431 セラックニス類	K 5627 ジンククロメートさび止めペイント
K 5492 アルミニウムペイント	K 5628 鉛丹ジンククロメートさび止めペイント
K 5511 油性調合ペイント	K 5629 鉛酸カルシウムさび止めペイント
K 5516 合成樹脂調合ペイント	K 5633 エッチングプライマー
K 5531 ニトロセルロースラッカー	K 5639 塩化ゴム系塗料
K 5533 ラッカー系シーラー	K 5641 カシュー樹脂塗料
K 5535 ラッカー系下地塗料	K 5646 カシュー樹脂下地塗料
K 5538 ラッカー系シンナー	K 5651 アミノアルキド樹脂塗料
K 5551 エポキシ樹脂塗料	K 5653 アクリル樹脂ワニス
K 5552 ジンクリッチプライマー	K 5654 アクリル樹脂エナメル
K 5553 厚膜形ジンクリッチペイント	K 5656 建築用ポリウレタン樹脂塗料
K 5554 フェノール樹脂系雲母状酸化鉄塗料	K 5657 鋼構造物用ポリウレタン樹脂塗料
K 5555 エポキシ樹脂雲母状酸化鉄塗料	K 5658 建築用ふっ素樹脂塗料
K 5562 フタル酸樹脂ワニス	K 5659 鋼構造物用ふっ素樹脂塗料
K 5572 フタル酸樹脂エナメル	K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント
K 5581 塩化ビニル樹脂ワニス	K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント
K 5582 塩化ビニル樹脂エナメル	K 5664 タールエポキシ樹脂塗料
K 5583 塩化ビニル樹脂プライマー	K 5665 路面標示用塗料
K 5591 油性系下地塗料	K 5667 多彩模様塗料
K 5621 一般用さび止めペイント	K 5668 合成樹脂エマルジョン模様塗料
K 5622 鉛丹さび止めペイント	K 5669 合成樹脂エマルジョンパテ
K 5623 亜酸化鉛さび止めペイント	K 5960 家庭用屋内壁塗料
K 5624 塩基性クロム酸鉛さび止めペイント	K 5961 家庭用屋内木床塗料
K 5625 シアナミド鉛さび止めペイント	K 5962 家庭用木部金属部塗料

(2)廃止予定の規格

- 1) K 5400 塗料一般試験方法
K 5600 塗料一般試験方法へ移行
- 2) K 5401 塗膜用鉛筆引かき試験機
K 5600-5-5 引かき硬度 (鉛筆法)
へ移行
- 3) K 5407 塗料成分試験方法
K 5601 塗料成分試験方法へ移行

(3) I S O 規格改正に伴う J I S 改正

- 1) K 5600-1-2 塗料一般試験方法-通則-サンプ
リング

主な改正点は以下の通り。

- ① 試料採取方法 → サンプルリングへ変更
- ② 粉末状、顆粒状材料のサンプルリングを追加

- 2) K 5600-7-6 塗料一般試験方法-塗膜の長期
耐久性-屋外暴露耐候性

主な改正点は以下の通り。

- ① 耐候性 → 屋外暴露耐候性へ変更
- ② 暴露架台 地面から1m以上の高さ
→ 0.45m以上の高さ
角度は45度 → 角度は通常45度だ
が、塗膜の使用目的によって他の
角度でもよい

(4)今後 J I S 制定・改正作業を進める予定のもの

- 1) 改正 K 5600-1-4 試験用標準試験板
K 5410 (塗料用試験板)を含めた内容に改正
- 2) J I S 原案の作成
 - ・低ホルムアルデヒド塗料
 - ・塗膜中からのホルムアルデヒドの放散量の定
量と用途分類
 - ・非鉛、クロム系さび止めペイント
 - ・非錫系船底防汚塗膜の海水中での膜厚減少速
度の試験方法
- 3) 粉体塗料に関する I S O 規格の J I S 化
 - ・熱硬化型粉体塗料のゲル化時間の測定
(ISO 8130-6)
 - ・傾斜板フローテスト (ISO 8130-11)
 - ・レーザー回折による粒度測定 (ISO 8130-13)

平成14年4月開催の塗料関係 国際会議・イベントのご案内

[第3回 ペイントショー 2002]

会期 : 平成14年4月4日 (木) ~6日 (土)
会場 : 東京ビッグサイト
テーマ : 生活彩典/くらしをとりまくペイントの
すべて

概要 : ① 塗料・塗装産業およびこれに関する
原材料、周辺機器企業による自社製
品および最新技術のプレゼンテーション
② 関連セミナーの開催

(詳細は、社団法人日本塗料工業会内ペイントショー
実行委員会へ照会下さい)

[2002年 ISO/TC35 国際会議]

会期 : 平成14年4月1日 (月) ~5日 (金)
会場 : 東京ビッグサイト
概要 : TC35 (ペイント及びワニス) 全体会
議、VOCアドホック会議の他、
下記TC35/SCの会議が行われる。

TC35/SC1 (用語)

TC35/SC2 (顔料と体質顔料)

TC35/SC9 (塗料の一般試験方法)

TC35/SC10 (塗料用ビヒクル試験方法)

TC35/SC14 (鋼構造物の塗装仕様)

(詳細は、社団法人日本塗料工業会、財団法人日本塗
料検査協会へ照会下さい)

[色材協会創立75周年記念国際会議]

会期 : 平成14年4月2日 (火) ~4日 (木)
会場 : 東京ビッグサイト
概要 : 基調講演、招待講演
一般口頭発表、ポスターセッション、
技術フォーラム

(詳細は、社団法人色材協会へ照会下さい)